

---

## 令和4年度 第1回 人生の最終段階における医療・ケア検討会議

---

日時: 令和4年7月11日(月)18:45~20:30

場所: 高知城ホール 中会議室

### 次 第

#### 1 開会

#### 2 議題

- |     |                    |        |
|-----|--------------------|--------|
| (1) | 委員の交代及び追加について      | (資料 1) |
| (2) | 令和3年度の実績報告について     | (資料 2) |
| (3) | 市町村の取り組みについて       | (資料 3) |
| (4) | 令和4年度及び今後の取り組みについて | (資料 4) |

#### 3 閉会



高知県在宅療養推進課

## 人生の最終段階における医療・ケア検討会議設置要綱

### (目的)

第1条 県民一人ひとりが最期まで自分らしく尊厳をもって生きられるよう、人生の最終段階において提供される医療及びケアについて検討するため「人生の最終段階における医療・ケア検討会議」(以下「会議」という。)を設置する。

### (協議事項)

第2条 この会議は、前条の目的を達成するため、次の事項について協議する。

- (1)人生の最終段階において提供される医療及びケアのあり方に関すること。
- (2)ACP(アドバンス・ケア・プランニング)による意思決定の体制整備に関すること。
- (3)ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の普及啓発に関すること。
- (4)その他、目的を達成するために必要な事項。

### (組織)

第3条 会議の委員は、人生の最終段階における医療・ケアに携わる医療関係者・介護関係者、学識経験者、関係団体及び住民の代表者等で構成する。

- 2 会議に座長を置き、委員の互選により選出する。
- 3 委員が会議に出席できない場合、代理出席を認める。

### (会議)

第4条 この会議は、座長が必要に応じて招集し、座長が議長となる。

- 2 議事は、公開とする。

### (事務局)

第5条 検討会議の事務局は、高知県健康政策部在宅療養推進課に置く。

### (その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、会議の組織及び運営に関し必要な事項は、座長が委員に諮って定める。

### 附 則

この要綱は、令和元年6月10日から施行する。

この要綱は、令和3年6月9日から施行する。

人生の最終段階における医療・ケア検討会議 委員名簿

氏名	所属・役職名	備考
阿部 恭宜	公益社団法人高知県薬剤師会 常務理事	
伊与木 増喜	一般社団法人高知県医師会 常任理事	
岩崎 美幸	公益社団法人高知県看護協会 看護師職能理事	
北岡 智子	国立大学法人高知大学 講師	
北村 龍彦	一般財団法人日本尊厳死協会四国支部・高知 代表	座長
公文 理賀	一般社団法人高知県社会福祉士会	
長瀬 美和	一般住民代表 (高知県連合婦人会 副会長)	
廣内 一樹	高知県介護支援専門員連絡協議会 会長	
福田 晃代	高知県老人福祉施設協議会 副会長	
堀 洋子	一般住民代表 (高知県医療審議会保健医療計画評価推進部会委員)	
松本 務	医療法人財団千葉健愛会あおぞら診療所高知潮江 院長	
森下 幸子	高知県公立大学法人高知県立大学 特任准教授	
安岡 しずか	公益社団法人高知県訪問看護連絡協議会 会長	

※敬称略、五十音順

## 委員の交代及び追加について

### 1. 委員交代

公益社団法人高知県看護協会

(新任) 看護師職能理事 岩崎 美幸 様

(前任) 同 尾崎 貴美 様

### 2. 委員の追加

下記団体より、委員として参加希望の申し出がありました。

#### ・高知県歯科医師会

所在地：高知市本町 1 - 7 - 4 5

総合あんしんセンター 2 階

#### ・高知県医療ソーシャルワーカー協会

所在地：高知市本町 4 - 1 - 3 7

丸の内ビル高知県社会福祉センター 3 階

## 令和 3 年度事業実績



## 実績一覧

進捗管理	・ 検討会議の開催 ⇒ 8/6 (2月は中止)
人材育成	・ 指導者研修 (国) ⇒ 中止 ・ 相談員研修 (国) ⇒ 10/23、12/12 Web開催 ・ 医療従事者レベルアップ事業 (県) ⇒ 11/14 Web開催 ・ あったかふれあいセンターコーディネーター研修 (県) ⇒ 3/9 Web開催
実態把握	・ R3県民世論調査 ⇒ 4 ~ 12月 ・ 市町村アンケート調査 ⇒ 5月
県民啓発	・ 公開講座 ⇒ 中止 ・ 広報媒体 ⇒ 高知新聞広告 (9月)、テレビ・ラジオ読み上げ等 (2月)、さんSUN高知 (1月) ・ 出前講座 ⇒ 中止 ・ 啓発ポスター ⇒ 初級編ポスター作成 (10月) ・ 随時配布

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
進捗管理					第1回 検討 会議 8/6						第2回 検討 会議 (中止)	
人材育成							相談員 研修 1回目 10/23	レベル アップ 事業 11/14	相談員 研修 2回目 12/12			あったか コーディネーター 研修 3/9
実態把握	県民世 論調査 ACP 項目 追加	市町村 アン ケート 実施			県民世論調査 回答期間				県民世論 調査結果 公表			
県民啓発						高知 新聞 広告	初級編ポスター 作成・ 随時配布			出前 講座 (中止)	公開講座 県内3箇所 (中止)	
						出前 講座 (中止)				さんSUN 高知 掲載	テレビ・ ラジオ 読み上げ	

## 令和3年度事業実績について

### (1) 人材育成

#### ①相談員研修 (P 4～5)

厚生労働省が人生の最終段階における医療・ケアに関する患者の相談に適切に対応できる体制を強化することを目的として開催している。

##### ○1回目 (多職種チームで参加)

日程 : 令和3年10月23日(土) 9:00～17:30 (Web開催)

参加者 : 8チーム (29名)

##### ○2回目 (在宅医療・施設ケア従事者版)

日程 : 令和3年12月12日(日) 9:00～17:30 (Web開催)

参加者 : 2名

#### ②指導者研修

新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

#### ③医療従事者レベルアップ事業 (P 6)

日程 : 令和3年11月14日 (Web開催)

講師 : 東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座

会田 薫子氏

内容 : 人生会議

対象 : 高知県リハビリテーション研究会に参加した医療・福祉関係者 約140人

#### ④あつかふれあいセンターコーディネーター研修

在宅療養推進課からACPについて説明し、普及啓発の協力を依頼した。

日程 : 令和4年3月9日 (Web開催)

対象 : あつかふれあいセンターコーディネーター 118人

### (2) 実態把握 (P 7～13)

県民世論調査にACPの認知度の項目を追加し、調査した。

対象 : 県内全域18歳以上の県民3,000人を無作為抽出

期間 : 令和3年8月20日～9月13日までの25日間

調査方法 : 郵送及びインターネット

回収数 : 1,795票 (有効回収率59.8%)

<結果概要>

問.人生の最終段階をどこで迎えたいと思いますか。

自宅 49.2%、分からない 20.1%、医療機関 15.4%、特別養護法人ホームなどの介護施設 3.5%、有料法人ホーム・サービス付き高齢者住宅 2.8%、その他 1.7%、  
無回答 7.2%

問.人生会議（ACP）を知っていますか。

知っている 13.3%、知らない 83.3%、無回答 2.9%

問.どのようにして人生会議（ACP）を知りましたか。

テレビ・ラジオ 34.0%、医療機関 18.5%、インターネット 13.4%、  
家族や友人、知人 12.2%、新聞 8.8%、終活セミナーなどの講演会や研修会 6.7%、  
その他 6.3%

### **(3) 県民啓発**

#### **①公開講座**

下記の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

時期 : R 4. 2/11 高知市、3/6 四万十市、3/20 安芸市

講師 : 特別養護老人ホームあざみの里 看護師 松木 裕子氏 (高知市、安芸市)  
一般社団法人高知県社会福祉士会 公文 理賀氏 (四万十市)

内容 : A C P の基本的な考え方、実際の事例

#### **②広報**

・高知新聞 (P 14)

令和 3 年 9 月に高知新聞の広告ページ「優しい社会へ」に掲載した。

・県広報誌「さん S U N こうち」1 月号に掲載し、県内全戸に配布した。

・テレビ・ラジオの読み上げを令和 4 年 2 月に実施した。

内容 : 人生会議の紹介及び公開講座の案内

#### **③ポスター、リーフレットの配布先 (P 15) (R4.6 月時点)**

ポスター : 5,000 部を印刷し、約 2,000 部を配布済み。

リーフレット : 10,000 部を印刷し、約 5,300 部を配布済み。

#### ④県政出前講座

下記の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

	1回目	2回目
日程	令和3年9月24日(金)	令和4年1月28日(金)
場所	高知市	南国市
主催	高知市老人クラブ連合会	南国市教育委員会
講師	近森病院顧問・外科部長 北村 龍彦先生	同左



## 「本人(患者)の意向を尊重した意思決定のための研修会」の実施状況等について

### 1 研修会の目的等

- 厚生労働省が国立大学法人神戸大学に委託して実施する「人生の最終段階における医療体制整備事業」として、平成 28 年度から開催。
- 人生の最終段階における医療・ケアに関する患者の相談に適切に対応できる体制を強化することを目的に、全国でブロック毎に開催。
- 医師、看護師、医療ソーシャルワーカー等で構成される「医療・ケアチーム」を対象とした「相談員研修」及び相談員等の人材を育成するため相応の経験を積んだ医療従事者等を対象とした「指導者研修」を実施。

年度	相談員研修	指導者研修
R 元年度	<p>《 四国会場 》</p> <p>■高知会場</p> <p>* 日時 令和元年 12 月 22 日(日) 9:00～17:30</p> <p>* 場所 近森病院（高知市追手筋）</p> <p>* 参加数 27 チーム（89 名）</p>	<p>* 日時 令和元年 8 月 31 日(土) 11:00～18:50 9 月1日(日) 8:30～16:20</p> <p>* 場所 TKP 赤坂駅カンファレンスセンター （東京都港区赤坂）</p> <p>* 参加者（高知県より）4名が受講</p>
R2年度	<p>《 四国会場 》</p> <p>* 日時 令和2年 12 月 12 日(土) 9:00～17:30</p> <p>* 開催方法 Web 開催</p> <p>* 参加数 3チーム(11名)</p>	* 新型コロナウイルスの影響により未開催
R3年度	<p>《 四国会場 》</p> <p>1回目(他職種チームで参加)</p> <p>* 日時 令和 3 年 10 月 23 日(土) 9:00～17:30</p> <p>* 開催方法 Web 開催</p> <p>* 参加数 8 チーム(29 名)</p> <p>2回目(在宅医療・施設ケア従事者版)</p> <p>* 日時 令和3年 12月12日(日) 9:00～17:30</p> <p>* 開催方法 Web 開催</p> <p>* 参加数 2名</p>	* 新型コロナウイルスの影響により未開催

### 受講者累計(平成 28 年度～令和 3 年度)

相談員研修	指導者研修
40 機関・178 名	5機関・10 名

【人生会議（アドバンス・ケア・プランニング（ACP））について】

人生会議（アドバンス・ケア・プランニング（ACP））とは、人生の最終段階に向けて、自分自身が大切にしていることや、どのような医療や介護を望んでいるのかについて考え、信頼する人たちと話し合うことを意味します。

人生の最終段階における医療・介護について、本人・家族や医療従事者などと事前に十分な話し合いが行われた上で、本人の意思決定を基本とした最善の方針が図られるよう、県において必要な取り組みを進めています。

問 17 人生会議（アドバンス・ケア・プランニング（ACP））を知っていますか。

（1つだけ○印）

- 1 知っている、または聞いたことはある →副問1へ
- 2 知らない

副問1 （問17で「1」を選んだ方のみお答えください）

どのようにして人生会議（アドバンス・ケア・プランニング（ACP））を知りましたか。

（1つだけ○印）

- 1 テレビ・ラジオ
- 2 インターネット
- 3 新聞
- 4 終活セミナーなどの講演会や研修会
- 5 家族や友人、知人
- 6 医療機関
- 7 薬局
- 8 その他（ )

問 18 人生の最終段階をどこで迎えたいと思いますか。

（1つだけ○印）

- 1 自宅
- 2 医療機関
- 3 有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅
- 4 特別養護老人ホームなどの介護施設
- 5 その他（ )
- 6 分からない

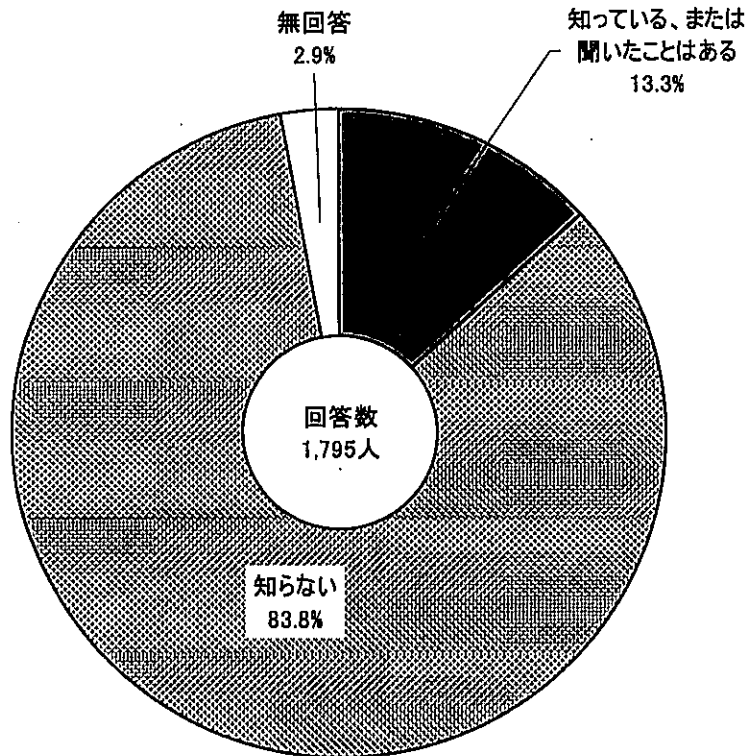
(3) 人生会議(APC)を知っているか

問 18 人生会議(アドバンス・ケア・プランニング(ACP))を知っていますか。(1つだけ○印)

【総合】

「知らない」が83.8%となっている。

《総合》

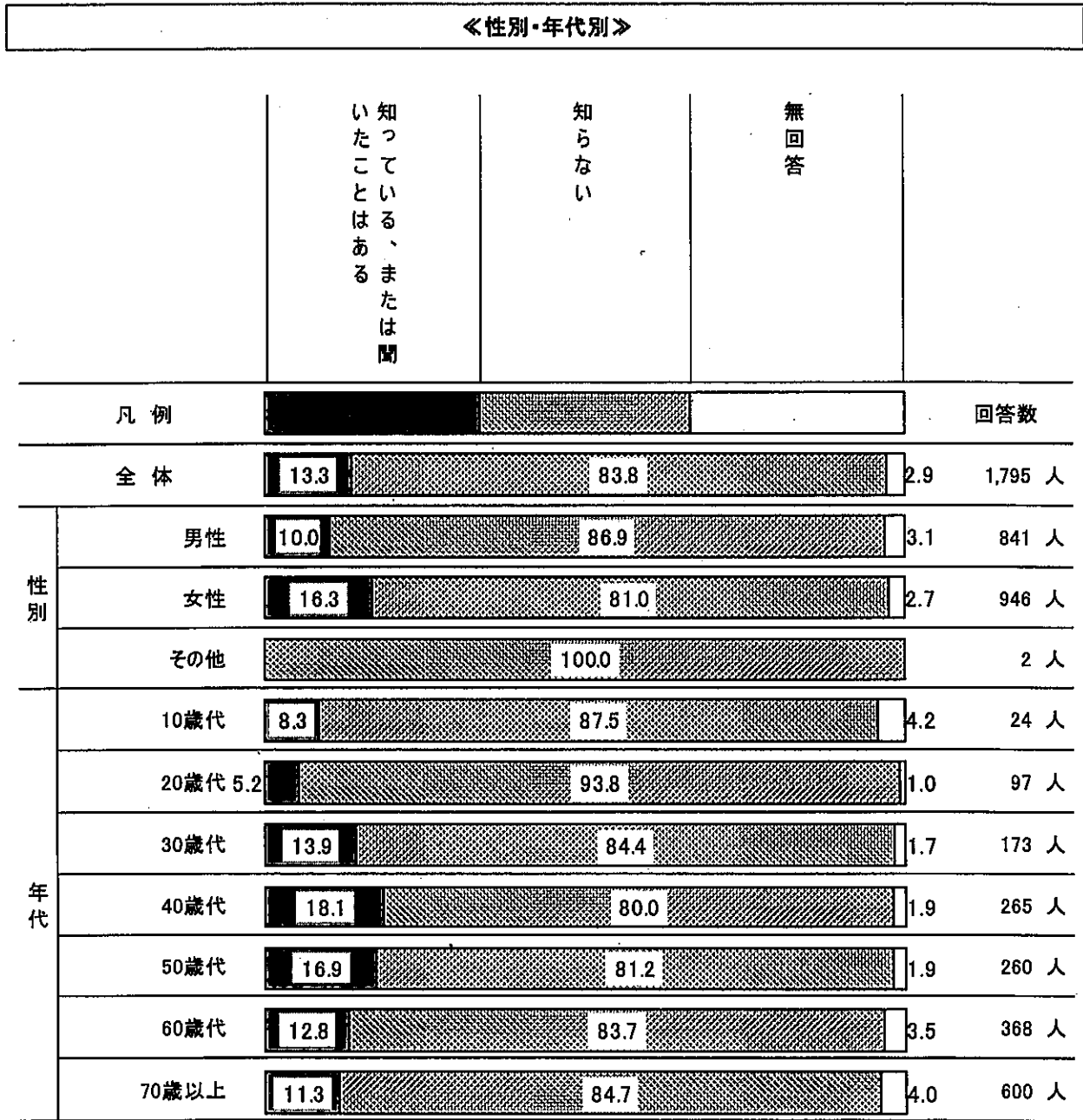


【性別】

女性の方が「知っている、または聞いたことがある」が高くなっている。

【年代別】

すべての年代で「知らない」が8割以上となっている。



グラフ単位：(%)

(4)情報入手先

副問1(問18で「1」を選んだ方のみお答えください)

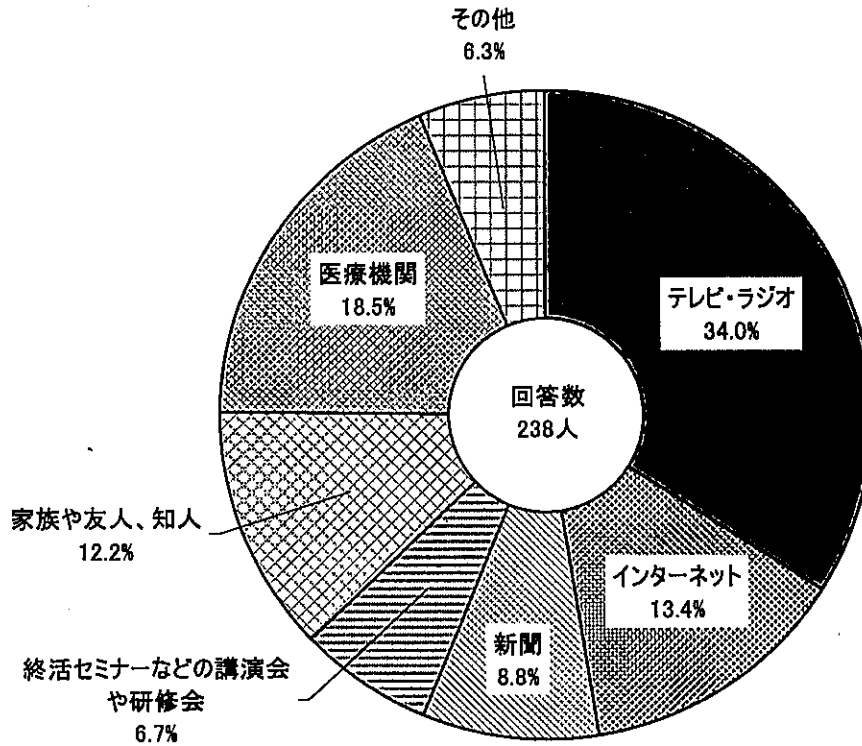
どのようにして人生会議(アドバンス・ケア・プランニング(ACP))を知りましたか。(1つだけ○印)

【総合】

「テレビ・ラジオ」が34.0%と1位になっている。

次いで、「医療機関」が18.5%、「インターネット」が13.4%と続いている。

《総合》

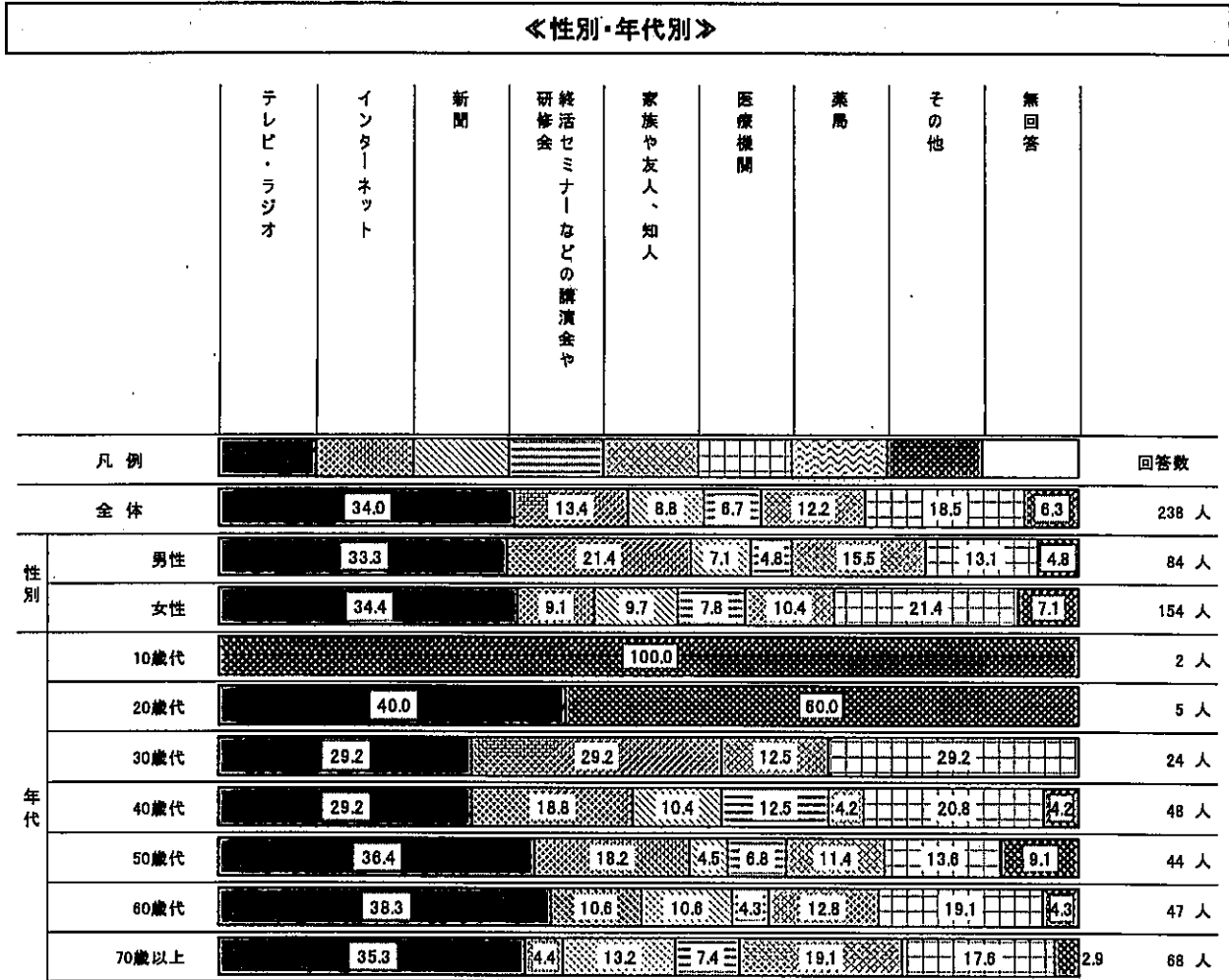


【性別】

男性では「インターネット」、女性では「医療機関」が、「テレビ・ラジオ」に続いて2番目に高くなっている。

【年代別】

30歳代では同率で「テレビ・ラジオ」と「インターネット」と「医療機関」が最も高く、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「テレビ・ラジオ」が最も高くなっている。



グラフ単位：(%)

(5) 人生の最終段階

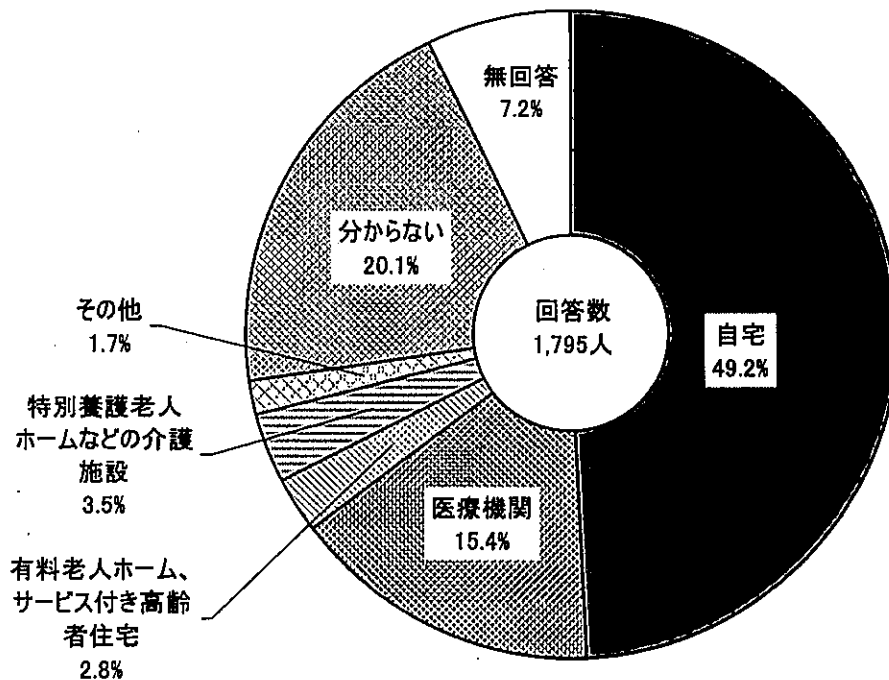
問 19 人生の最終段階をどこで迎えたいと思いますか。(1つだけ○印)

【総合】

「自宅」が49.2%と1位になっている。

次いで、「医療機関」が15.4%、「特別養護老人ホームなどの介護施設」が3.5%と続いている。

<<総合>>

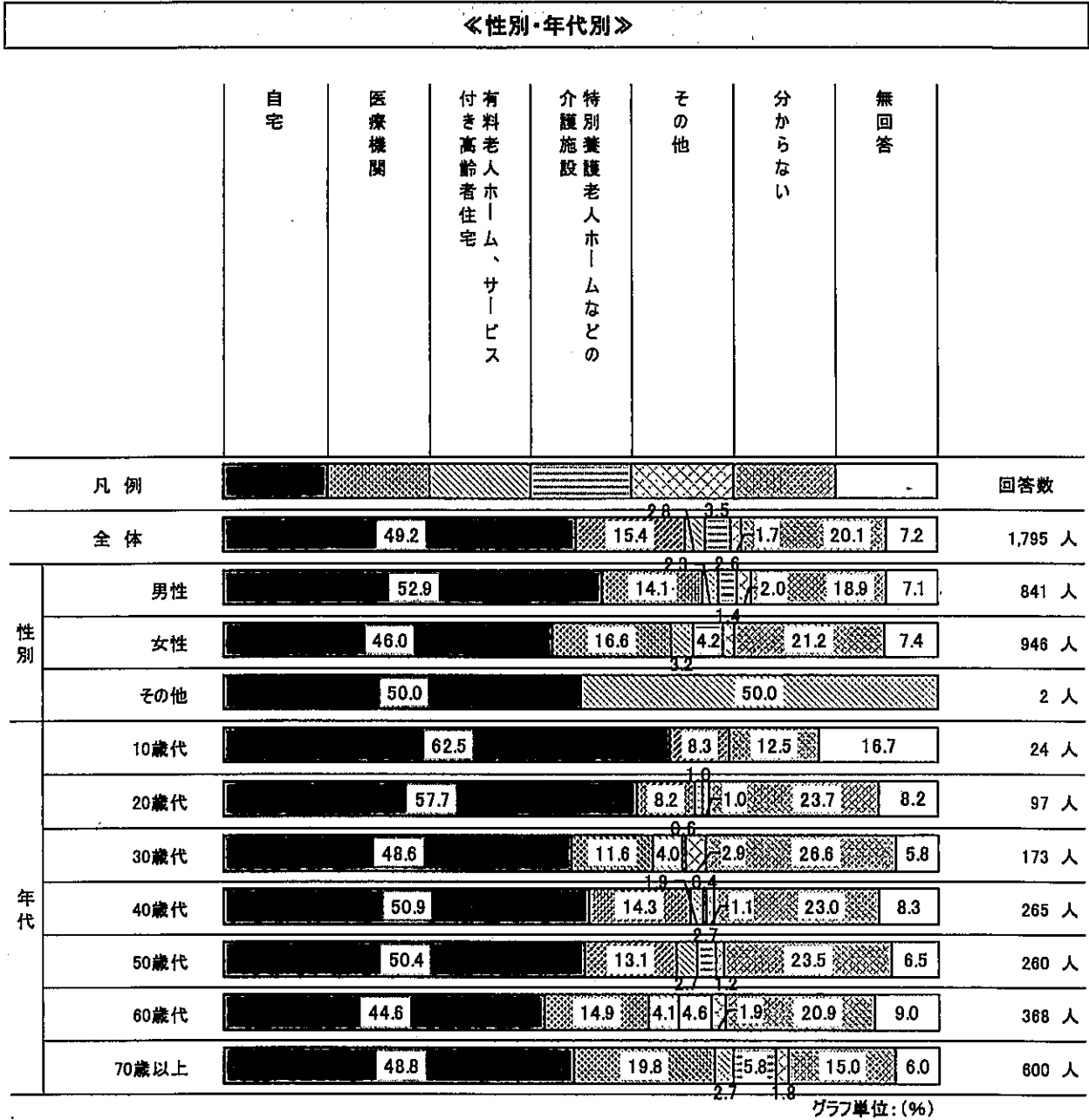


【性別】

男性の方が「自宅」と希望する比率が6.9ポイント高くなっている。

【年代別】

年代が上がるほど「医療機関」の比率が高くなる傾向がみられる。





## ACPの普及啓発に係る市町村アンケート結果

令和4年5月に市町村を対象にしたACPの普及啓発に係るアンケートを実施した。

集計日	R4.6.23	
配布数	34	
回答数	34	(回答率100%)

## 【結果】

## 1. 令和4年度にACPの普及啓発に取り組む予定。

あり	24	71%
なし	9	26%
今後取り組む予定	1	3%

## 2. 取り組みの予定。啓発資材を使用する場合は資材の内容。

## ○取組内容（複数回答あり）

県作成のポスター、リーフレットの配布	15	
講演会	12	
会議等で説明	4	※1
広報	2	
動画	2	
開発中の健康支援アプリにACPに関して記入する欄を設ける予定	1	※2
検討中	3	

※1：在宅医療サービスの説明時、介護者家族会、ミニデイサービス、事業所説明会

※2：個人が脈拍や血圧等のデータを入力して健康管理するアプリを開発中。

## ○啓発資材（複数回答あり）

## 1. エンディングノート

- ・市発行のエンディングノート
- ・市独自の終活ノート
- ・エンディングノート
- ・上手に老いるための自己点検ノート
- ・心積もりノート

## 2. 資料

- ・広報誌
- ・委託先の在宅医療介護支援センターが作成したチラシ
- ・県作成のリーフレット
- ・町作成資

## 3. 動画

- ・看取りとリビングウィルに関する啓発用動画
- ・動画

## 4. その他

- ・事例を用いたグループワークを行う。

3. 県がACPに関する住民向け公開講座をする場合、共同主催を行う意向があるか。

あり	17
なし	16
不明	1

4. 県作成の啓発資材「人生会議をしてみませんか？」のポスター、リーフレットの活用状況。  
(R4.3月に各市町村へ送付。)

	ポスター	リーフレット
掲示済み	21	17
未活用	13	17

5. 県作成の啓発資材の掲示・配布に協力する市町村数および配布部数。

	市町村数	配布部数
ポスター	9	計60部
リーフレット	15	計905部

※既に掲示済みの市町村と併せると28市町村が協力。

## 令和 4 年度事業計画



## 計画一覧

進捗管理	・ 検討会議の開催 ⇒ 2回（6月→7/11、2月）
人材育成	・ 指導者研修（国） ⇒ 1回 ・ 相談員研修（国） ⇒ 2回 ・ 医療従事者レベルアップ事業（県） ⇒ 1回 ・ あったかふれあいセンターコーディネーター研修（県） ⇒ 9月
実態把握	・ 市町村アンケート調査 ⇒ 5月
県民啓発	・ 公開講座 ⇒ 県内3カ所、9月 ・ 広報媒体 ⇒ <b>日本一の健康長寿県構想広報番組、8月</b> テレビ・ラジオ読み上げ等、8月 高知新聞広告、9月 ・ 出前講座 ⇒ 随時受け付け ・ 啓発資材 ⇒ 随時配布 ・ <b>企業と連携した啓発 ⇒ 保険会社、葬儀社等</b>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
進捗管理				第1回 検討 会議 7/11							第2回 検討 会議	
人材育成						あったかコー ディネーター 研修 9/27	相談員 研修 1回目	レベル アップ 事業	相談員 研修 2回目		指導者 研修	
実態把握		市町村 アン ケート 実施										
県民啓発				出前 講座 7/22	テレビ・ ラジオ 読み上げ	出前講座 9/12					出前 講座 2/2	
					<b>県広報 番組 8/20, 28放送</b>	高知新聞 広告	公開講座 県内3カ所 9/4,10,11					
企業と連携した啓発												

## 1. 令和4年度事業計画について

### (1) 検討会議

年2回開催（7月11日,2月予定）

### (2) 人材育成

#### ①指導者研修

開催予定（時期未定）

#### ②相談員研修

開催予定（時期未定）

#### ③医療従事者レベルアップ事業

日程：令和4年11月6日（オンライン開催）

講師：東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座  
会田 薫子氏

内容：臨床倫理の最前線、実績方法等

対象：医療・福祉関係者

主催：高知県口のリハビリテーション研究会

#### ④あったかふれあいセンターコーディネーター研修

在宅療養推進課からACPについて説明し、普及啓発の協力を依頼する。

日程：令和4年9月27日（火）

対象：あったかふれあいセンターコーディネーター

### (3) 県民啓発

#### ①公開講座

時期：9月4日（日）高知市、9月10日（土）四万十市、  
9月11日（日）安芸市

講師：特別養護老人ホームあざみの里 看護師 松木 裕子氏

内容：ACPの基本的な考え方、実際の事例

県から説明 10分

講演 60分

質疑 10分

（市から取り組みの紹介 5～10分程度（高知市、四万十市））

#### ②県政出前講座

○1回目

日時：7月22日（金）10:30～11:30 予定

場所：高知市

講師：近森病院顧問・外科部長 北村 龍彦先生

主催：高知市老人クラブ連合会

- 2回目 令和4年9月12日(月) 予定(土佐市あったかふれあいセンター主催)
- 3回目 令和5年2月2日(木) 予定(同上)

### ③日本一の健康長寿県構想広報番組

フレイル予防の取り組みを行っている仁淀川町の住民の方が中山間地域で日頃予防を行いつつ「心積もりノート」などを活用しながら家族や専門職と話し合いを行っている様子を放送

放送予定：8月20日(土)、8月28日(日) KUTV

### ④在宅療養推進課のホームページでの紹介

厚生労働省の人生会議普及啓発動画のリンクを掲載

### ⑤企業との連携

- ・生命保険会社  
啓発資材の配布、セミナーの共同開催(予定)
- ・葬儀社  
イベントに参加(7/30 予定)
- ・県と包括協定を締結している企業へ協力依頼



## 「人生会議」してみませんか？

公開日 2022年06月30日

人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニングの略）とは、自分自身が大切にしていることや、どのような医療やケアを望んでいるかについて前もって考え、信頼する人たちと話し合うことを言います。

このページでは、県が作成した分かりやすいパンフレットや、厚生労働省が公開している普及・啓発のための動画を紹介しています。

### ■啓発パンフレット

人生会議を広く県民の方に知っていただき、身近な人と実際に話し合っていたくため、人生会議の概要や基本的な話し合いの手順等を紹介しています。

[「人生会議」してみませんか？\[PDF：2MB\]](#)

### ■人生会議の普及・啓発のための動画（厚生労働省へのリンク） ～人生会議について考えるきっかけをつくるために～

(Vol.1) <https://www.youtube.com/watch?v=b7rziMgFdTU>

(Vol.2) [https://www.youtube.com/watch?v=aV5\\_i83czWA](https://www.youtube.com/watch?v=aV5_i83czWA)

(Vol.3) <https://www.youtube.com/watch?v=y9WHRhZs4Tc>

## 問い合わせ先

高知県健康政策部 在宅療養推進課 在宅医療担当

TEL 088-823-9104

FAX 088-823-9137

### 連絡先

高知県 健康政策部 在宅療養推進課

住所： 〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目2番20号

電話： 在宅医療 088-823-9104

連携推進 088-823-9848

## 2. 今後（令和4、5年度）の取り組みについて

### ○これまでの取り組み

広く住民の皆さまに「人生会議」を知っていただくために、啓発資材の配布等を行ってきた。

### ○課題

- ・実際に終末期の対応について家族や周囲の方と繰り返し話し合ってもらうためには、より丁寧な説明が必要と考えられる。
- ・まだ取り組みを実施していない市町村への支援が必要。

### ○今後の取り組み（案）

別紙「今後の取り組みについて」参照

#### 1. 地域での啓発活動への支援

- ・いきいき百歳体操など、地域の身近な場所で講座を行ったり、地域単位で取り組めるよう、民生委員や自治会の方に関わっていただく。
- ・あったかふれあいセンターのコーディネーター、ケアマネジャー等へ人生会議の説明を行い、取り組んでいただく。

#### 2. 市町村での啓発活動への支援

- ・市町村の担当者の情報交換会を開催する。事例発表や、住民への普及を行う上での工夫等を共有し、各市町村の取り組みに活かす。

#### 3. 介護、医療現場における人生会議の取り組みの支援

- ・医療従事者レベルアップ事業（医療関係団体が行う研修への講師派遣）を実施する。
- ・指導者研修、相談員研修への参加を促す。

今後の取り組みについて

R5年度は「無関心期」、「関心期」の一般高齢者を対象に企業とも連携し、啓発、情報提供を強化するとともに、市町村の取り組みを支援する。（表内の   の部分）

行動変容ステージ	状態	主な対象	ツール	サポーター
<p><b>無関心期</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利点を知る</li> <li>・周りへの影響を考える</li> </ul>	<p>6ヶ月以内に行動変容を起こす意思がない</p> <p><u>* 人生会議を知らない、終末期の対応を考えたことがない</u></p>	<p>県民全体 (特に一般高齢者)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター</li> <li>・リーフレット</li> <li>・TV、ラジオ</li> <li>・<b>企業から情報提供</b></li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">広報</div>	<p>県、<b>市町村</b></p> <p>企業（葬儀社、保険会社等）</p>
<p><b>関心期</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気づき</li> <li>・感情体験</li> </ul>	<p>6ヶ月以内に行動変容を起こす意思がある</p> <p><u>* 関心はあるが、どう行動したらいいのか分からない、抵抗がある</u></p>	<p>一般高齢者</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">公開講座</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <b>地域*での啓発活動</b>                      *集いの場、いきいき百歳体操、あったか、自治会等                 </div>	<p>県、<b>市町村</b></p> <p>民生委員、社会福祉協議会、あったかふれあいセンター、自治会等</p>
		<p>患者 要介護者 その家族</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">情報提供・声かけ</div>	<p>地域包括支援センター、ケアマネジャー 医療・介護関係者</p>
<p><b>準備期</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自信をもつ</li> <li>・周囲へ実行することを宣言する</li> </ul>	<p>1ヶ月以内に行動変容を起こす意思がある</p> <p><u>* エンディングノートなどを購入し、準備を始める</u></p>	<p>一般高齢者</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実践的なセミナー</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">市町村のエンディングノート活用紹介</div>	<p><b>市町村</b></p>
		<p>患者 要介護者 その家族</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">終末期医療に関する意思確認書</div>	<p>地域包括支援センター、ケアマネジャー 医療・介護関係者</p>
<p><b>実行期</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家や友人、家族からの理解、サポート</li> </ul>	<p>明確な行動変容が観察されるが持続が6ヶ月未満</p> <p><u>* 人生会議を行う</u></p>	<p>一般高齢者</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">市町村のエンディングノートを活用した話し合い</div>	<p><b>市町村</b></p>
		<p>患者 要介護者 その家族</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">確認書の更新</div>	<p>地域包括支援センター、ケアマネジャー 医療・介護関係者</p>
<p><b>維持期</b></p>	<p>明確な行動変容が6ヶ月以上続いている</p> <p><u>* 定期的に人生会議を行う</u></p>	<p>一般高齢者</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">市町村のエンディングノートを活用した話し合い</div>	<p><b>市町村</b></p>
		<p>患者 要介護者 その家族</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">確認書の更新</div>	<p>地域包括支援センター、ケアマネジャー 医療・介護関係者</p>

(参考) 厚生労働省 実践的指導者実施研修教材IV健康教育